



# 山口県立山口博物館だより

<http://www.yamahaku.pref.yamaguchi.lg.jp/>



2016年12月号

## ◆ 社会見学で博物館の魅力を体感！

秋の社会見学シーズン（10月、11月）がには、多くの学校が博物館を訪れました。今年度の社会見学では、化石レプリカづくりや葉脈標本づくり等の簡単な体験活動を新たに取り入れ、20分程度の時間で体験することができ、大変好評を得ています。また、ワークシート学習や分野別解説（理工、地学、植物、動物、考古、歴史、天文）も併せて選択することができ、博物館の魅力である「本物にふれる」学習を十分に深めることができます。社会見学御希望の学校は、まず、博物館に電話をください。御希望の内容に沿うようなコースを御提案いたします。（料金は無料です。雨天時の昼食場所もあります。）



## ◆ 博物館の常設展示を学校の授業で活用しよう！

博物館の展示と学校の授業内容とを関連づけながら、博物館を見学すると、本物にふれる生きた学習を行うことができます。学校で学んだことを、見て、触って、感じることで、実感をもった学びへと、学習をより深めることができます。

現在、「学校の授業内容と常設展示資料との関連表」を作成しているところです。漠然と見学するのではなく、先生方がこの表で授業との関連を調べて、子どもたちに説明したり、分野別解説を依頼することで、学校の授業がより生きた学びへと、深まりが増すことでしょう。

また、出前授業を学校の授業内容と関連づけて、活用例等を示した「出前授業の手引き」も作成中です、近いうちに、各学校にメールにて送信予定です。ぜひ御活用ください。

小学校授業内容と常設展示資料との関連表（一部抜粋）

学年	教科	単元(内容)	展示室	展示資料	活用例
1~4	生活科 理科	動植物の飼育・栽培 季節の変化と生活 昆虫と植物 季節と生物	動物・植物	里山の様子 	・生き物（動物・植物）は、季節の変化や土地の違いにより見られる生き物が変わることや違うことに気づく。
3	理科	昆虫と植物	動物・植物	昆虫標本 	・季節の変化に伴って昆虫、植物が変わっていく様子を観察する。 ・昆虫の体のつくりや特徴について調べる。
3	社会	人々の生活の変化	理工	電話の変遷 	・日常生活と密着した道具の変遷を学習する。人々の生活の変化について調べる。
4	理科	星の明るさや色	天文	星座と恒星 	・星座と夏の大三角形の関係やおりひめ星やひこ星と周りの星との違いについて調べる。

## 出前授業活用の手引き【昆虫教室】（一部抜粋）

### 【動物】昆虫教室

学習の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>昆虫の体のつくりや成長過程等、昆虫について学習し、昆虫標本を双眼顕微鏡で観察します。</li> <li>日本の昆虫だけでなく、世界の昆虫を見ることができ、昆虫が存在することから、生物の多様性を感じることに</li> </ul>
指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校3年理科「昆虫を育てよう」</li> <li>小学校生活科「自然とのかかわり」</li> <li>中学校2年理科「動物のなかま」</li> </ul>
準備物	長机20台程度（昆虫標本の展示用として）
時間 対応人数 学年	90分（45分でも可） 多人数可 小学校低学年～

#### 1 基本的な学習の流れ

基本構成（90分）	
提示資料をみて学習する時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>昆虫についての学習</li> <li>昆虫の体のつくりや生活場所、身を守るための工夫について学習し</li> </ul>
体験・観察する学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>昆虫標本の観察 日本や世界の昆虫の標本を観察します。</li> <li>双眼顕微鏡による観察 昆虫を1匹ずつケースに入れた標本を使って観察します。</li> <li>昆虫の擬態や保護色の観察、実生活への応用 紹介した昆虫の擬態や保護色をジオラマ標本で観察します。ハニカム構造など実生活へ応用されている技術を体験します。</li> <li>昆虫の鳴き声、チョウの飛行のようす 昆虫の標本を見ながら、デジタル音楽プレイヤーから昆虫の鳴き声をチョウの模型を作り、実際に飛行させることによって、飛行のようす</li> </ul>

#### 2 学習活動と活用例

自然とのかかわり（小学校1・2年 生活科）

学習活動
1 いきものと なかよし
2 はるの いきもの
3 なつ の いきもの
4 あきの いきもの

##### 活用例

児童の生活体験に即した活動を通して、昆虫がどんなところにいるのかについて、体の色や形などを根拠に考えさせます。クイズやものづくり体験などの活動を通して、昆虫の飼育や不思議さなどに触れさせるとともに、自然に主体的に関わろうとする思いをもたせます。

昆虫を育てよう（小学校3年 理科）

学習活動
1 チョウの育ち方を調べよう
2 チョウのせい虫を調べよう
3 こん虫のなかまをさがそう
4 トンボやバッタを育てよう
5 こん虫のすみかを調べよう

##### 活用例

昆虫の色、形、大きさなどの姿の違いに触れる活動を通して、昆虫とその周辺の環境との関係について、理解を図るようにします。昆虫標本、擬態ジオラマ、双眼顕微鏡で昆虫の体を観察し、昆虫とその周辺の環境との関係についての見方・考え方を養います。

動物のなかま（中学校2年 理科）

学習活動
1 脊椎動物と無脊椎動物

##### 活用例

昆虫標本の観察を通して、無脊椎動物と脊椎動物との体の特徴の

## ◆ 12月の行事予定（詳細・申込みは博物館ホームページへどうぞ）



「クリスマスの夜空に宝石を見つけよう！」  
 内容：月面や、さまざまな色で宝石のように輝く星々を、望遠鏡で観望します。  
 日時：12月10日(土) 18:30～20:30  
 場所：山口市亀山公園ふれあい広場(旧サビエル聖堂シンボルモニュメント・イルミネーション隣)  
 対象：一般（中学生以下は保護者同伴）

「ムササビの観察会」  
 内容：ムササビの生態の解説と生息地での観察を行います  
 日時：12月3日(土) 15:00～18:30  
 場所：当館・近郊の里山 **【要申込】**  
 対象：小学生以上（定員20名）

「雪の結晶をつくろう！」  
 内容：ドライアイスを使って雪の結晶を作ります。  
 日時：12月18日(日) 13:30～15:00  
 場所：当館（別館2階講座室）**【要申込】**  
 対象：一般（小学生以下は保護者同伴）  
 （定員20名）

### ■ お問い合わせ ■

詳しくは山口博物館のホームページ（For School）を御覧ください。  
<http://www.yamahaku.pref.yamaguchi.lg.jp/>



### 山口県立山口博物館

〒753-0073 山口市春日町 8-2  
 TEL 083-922-0294  
 FAX 083-922-0353